

PSS REPORT 2022

第37期 事業報告書

2021年7月1日 → 2022年6月30日



証券コード：7707

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。

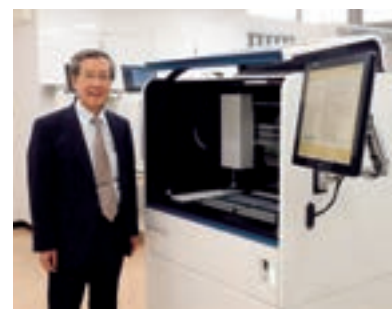
■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、使い勝手の良い（ユーザーフレンドリーな）バイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用することにより、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くことです。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かすこと、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスイージー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA（核酸）自動抽出装置は、約3万台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わることだと考えています。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

田島 秀二

PSSの提案する診断システム

- 全自動PCR検査装置
geneLEAD XL



■ 業績について

第37期（2022/6期）連結累計期間業績について ⇒参照 連結財務ハイライト

連結通期業績は黒字化を達成できました。前年同期比で減収減益の結果ではあったものの、国内販売の自社ブランド及びエリテック社向けOEM製品である全自動PCR検査装置用途とDNA自動抽出装置用途の試薬・消耗品及びメンテナンス関連の販売は順調に推移しました。費用面においては、研究開発費は製品応用開発費用の一巡で減少した一方で、自社ブランド製品販売活動費や人件費等の増加となりましたが、中期的にこれらの費用は自社ブランド製品売上販売拡大に寄与するものと考えています。その結果、営業利益は152百万円（前年同期比83%減）となりました。

■ 新型コロナウイルス感染症「COVID-19」への取り組みについて「全自動PCR検査モデル」進捗

PSSはCOVID-19をはじめ重篤感染症の脅威から掛け替えない人命や経済を守るためPCR検査体制の構築を目指し、PSSの技術を集積した核酸（DNA）抽出自動化装置（magLEADシリーズ）及び全自動PCR検査装置（geneLEADシリーズ）とPCR試薬とを連携させたシステムを既に完成しています。特にgeneLEADシリーズは核酸抽出とリアルタイムPCRの一貫全自動システムとして、ヨーロッパを中心にPCR検査を実施する世界の医療現場で導入されています。

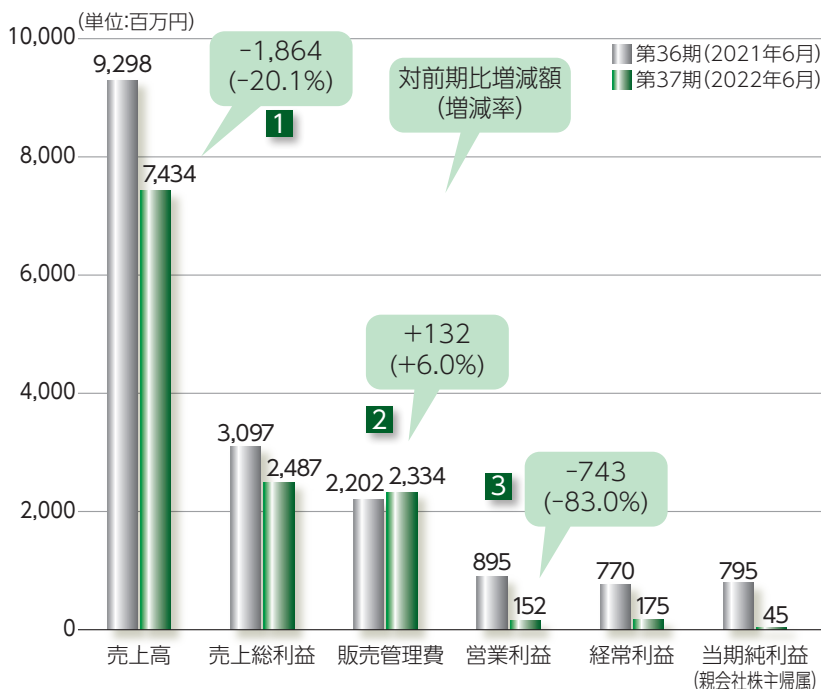
日本国内においても、全自動PCR検査装置とPCR試薬（COVID-19検査用）が保険適用の対象製品となったことにより、2020年8月より販売を開始し自社ブランドの全自動PCR検査装置は順調に日本の医療現場に導入されております。そしてこのたび新たに「全自動PCR検査日本モデル」として「ALL PCR Process in Single Room」によるスクリーニング、診断一貫体制を提案しています。更に、「コロナ禍におけるPCR社会的課題（目詰まりと偽陰性・偽陽性）」解決に一役担うべく大館試薬センター第二工場を中核としたプレフィルドカートリッジ抽出試薬・消耗品キットのサプライチェーン構築の設備投資を実施したことにより全自動PCR検査の省力化、大幅な時間短縮、人為ミス及び感染リスクの軽減や、COVID-19のより高感度検査実現を目指しています。このたび、2021年10月に「PSS新宿ラボラトリー」を開設して、「東京都PCR等検査無料化」事業の実施と千葉県松戸市が制度を強化している「市内の高齢者施設等の従事者を対象としたPCR検査事業」に検査機関として医療機関と行政・保健所と協力する運びとなりました。

今後は、発生が予測される各種ウイルス対応検査試薬の開発、製造に向けた事業体制を拡大し、将来の重篤感染症、パンデミックに備えた自動化システムの普及とその応用展開であるガン診断への対応を視野に入れた事業活動に鋭意取り組み社会貢献を果たしてまいります。

第38期（2023/6期）においても上記を踏まえた施策を厳格に進めることにより、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実に御覧いただけるよう事業を推進してまいります。引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

第37期(2022年6月期)連結業績

■装置販売が前期の大幅受注拡大の反動を受けたことに加えて、部品調達難の影響も加わり「COVID-19」迅速確定検査の需要に前期同様対応したものの、対前期比では減収減益となりました。



◆第36期(2021年6月期)業績比

▶売上高及び総利益の減収減益

前期比で減収減益の結果ではあったものの、国内販売の自社ブランド及びエリテック社向けOEM製品である全自動PCR検査装置用途とDNA自動抽出装置用途の試薬・消耗品及びメンテナンス関連の販売は順調に推移しました。

▶販管費は前期比増加

研究開発費は製品応用開発費用の一巡で385百万円(前年同期比30.1%減)と減少したものの自社ブランド製品販売活動費や人件費等の増加により、販売費及び一般管理費は前期比増加となりました。

▶業績は黒字化

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比では減少する黒字となりました。

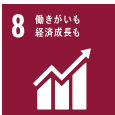
中期事業計画(2023年6月期)の進捗について

PSS VISION実現を通じたSDGsへの貢献

「多様なバイオ分野にて高精度かつユーザーフレンドリーなオープンシステムを全世界に提供して生体(バイオ)情報の有効活用を推進することにより社会に貢献する」

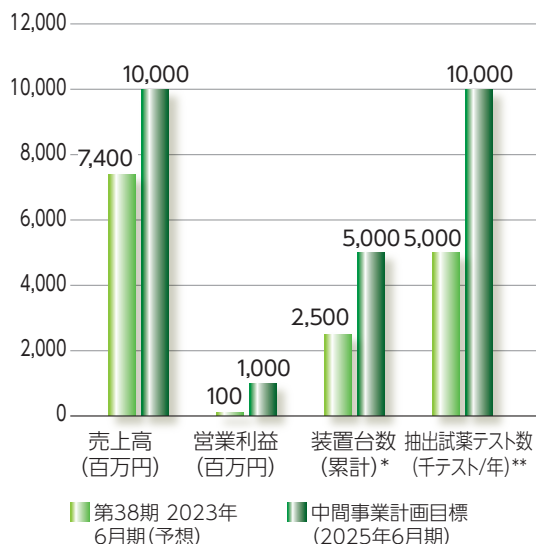


コロナ禍における事業指針「事業の成長による社会貢献」
「いつでもどこでも誰でも、正確且つ迅速なPCR検査の実現」



第37期戦略的事業推進テーマ

- ①OEM向け新製品上市と自社新技術製品上市対応による販売製品の拡充
- ②全自動PCR診断装置専用PCR試薬調達の契約締結による検査項目の拡張
- ③新宿ラボラトリー開設と衛生検査所登録により「東京都PCR等検査無料化事業」開始
- ④PSS大館試薬センター第二工場設立による遺伝子(核酸)抽出試薬カートリッジ量産体制確立
- ⑤全世界へのOEM向け販売実績を踏まえた自社ブランド製品の国内外販売網の拡大



3 すべての人に健康と福祉を



事業の成長による社会貢献へ

KPI: 装置台数(累計)* 1万台以上
遺伝子抽出試薬20百万テスト/年以上

自動遺伝子(核酸)抽出装置 magLEAD12gC

装置台数(累計)* 大館製造抽出試薬カートリッジ搭載装置主として自社ブランド販売製品: 対象製品
核酸(DNA)抽出自動化装置(magLEADシリーズ)及び全自動PCR検査装置(geneLEADシリーズ)

遺伝子(核酸)抽出試薬 MagDEA® Dx SV

抽出試薬テスト数(千テスト/年)**大館産抽出試薬カートリッジ
子会社NPSに隣接する大館試薬センターにて製造
このたび「サプライチェーン対策補助金」を受けて設立した「大館試薬センター第二工場」の稼働により、抽出試薬カートリッジの生産能力は年間6百万テストから年間36百万テストに拡大しました。



■ 大館試薬センター第二工場竣工式 (2022年4月21日)

【外観】



【施設内部】



【竣工式の様子】



2022年7月より本稼働

「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業」は当初予定通り2022/6末にて完了し監査対応準備中

■ 松戸市立総合医療センター導入事例 (2022年4月11日)

PSS全自動PCR検査装置ユーザーのインタビュー記事です。

入院・手術が予定されている成人患者を中心に月350～360件のPCR検査が実施されています。

▼インタビュー
記事はこちら



■ 全自動PCR検査日本モデル「PSS新宿ラボラトリー」開設 (2021年9月24日)

■ 東京都PCR等検査無料化事業者登録及び東京農工大学での検体採取所の開設 (2022年2月18日)

■ 汐留ガーデンクリニックにおける東京都PCR等検査無料化事業の提携 (2022年2月22日)

■ PSS新宿PCR検査センターの開設および東京都PCR等検査無料化事業者登録 (2022年3月18日)

【PSS新宿ラボラトリー】



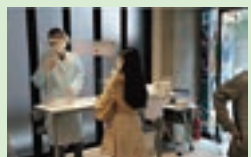
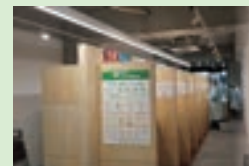
【PSS新宿PCR検査センター】



WEBサイトは
こちら



高齢者施設等従事者へのPCR検査の強化
検査の流れ



■ 千葉県松戸市の高齢者施設等従事者へのPCR検査事業に協力 医療機関「インターパーク倉持呼吸器内科」と提携 (2022年5月27日)

会社概要

CORPORATE PROFILE

会社概要：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二
専務取締役 池田 秀雄
常務取締役 古川 昭宏
取締役 田中 英樹
取締役 澤上 一美
取締役* 荻原 大輔
監査役** 部屋 健太郎
監査役** 本島 佳代子
監査役** 鈴木 泰浩
(注) *社外取締役 **社外監査役

資本金：4,643百万円

従業員数：196名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含めない。)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
ユニバーサル・バイオ・リサーチ株式会社 (千葉県松戸市)
エヌピーエス株式会社 (秋田県大館市)

事業内容：体外診断システムの開発及びメーカー (装置、試薬、消耗品、メンテナンス、受託検査等)

株式の状況

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株
発行済株式総数 27,666,900株
株主数 20,332名

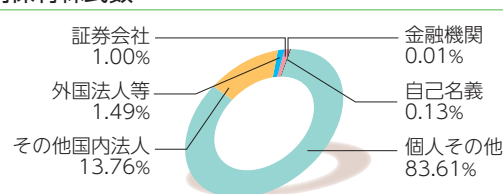
大株主 (2022/6期末現在)

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
田島 秀二	4,607,600	16.7
株式会社日立ハイテック	2,310,000	8.4
有限会社ユニテック	1,200,000	4.3
田中 正勝	335,700	1.2
佐賀 健二	135,000	0.5
佐々木 重次	130,300	0.5
BNY GCM CLIENT ACCOUNT	121,229	0.4
JPRD AC ISG (FE-AC)	119,600	0.4
吉羽 淳人	105,300	0.4
小玉 博之	105,000	0.4
大和証券株式会社	105,000	0.4
飯泉 安生	105,000	0.4

株主数推移 (名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
剰余金の配当基準日	期末配当金 毎年6月30日 中間配当金 毎年12月31日
定時株主総会	毎年9月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告方法	電子公告 (http://www.pss.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。 証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。
PSSWebサイト>企業情報・IR>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 総務部

〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL: 047-303-4800 ▶FAX: 047-303-4810 ▶Eメール: ir@pss.co.jp